

村岡新駅周辺地区まちづくりニュース

村岡地区の移動に関するアンケート調査にご協力いただきありがとうございました

「村岡地区の移動に関するアンケート」は、地区のみなさまの移動の実態を把握し、移動に関する課題や潜在的なニーズを整理するために、昨年6月～7月にかけて実施し、合計で3,262世帯、4,804名の方から回答をいただきました。たくさんの方にご協力いただき、ありがとうございました。

令和5年度からは、今回のアンケート結果等を用いながら、新駅開業後の新たな交通・移動環境づくりについて検討を進めていきます。

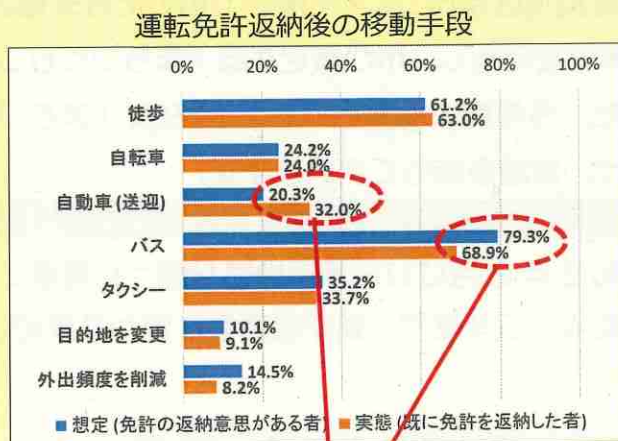
アンケート調査から分かった 駅へのアクセス方法と自家用車の関係について

調査の結果から、75歳を境に運転免許返納者の割合は大きく増加していることがわかりました。運転免許を返納した方は、返納前に想定していたよりもバスの利用をされていないのではないかと推察されます。また、この年齢層では、自家用車を利用できる方に比べて利用できない方の外出日数が少なくなっています。

一方で、藤沢駅の近くに住む人は、年齢に関係なく全体として自家用車以外の方法で駅へアクセスしている傾向となっています。このことから、村岡新駅が開業すると、新駅周辺に住む方の駅へのアクセス方法が変化することが想定されます。

こうしたことから、自家用車を使わなくても、新駅を中心に移動しやすい環境づくりをすることで、だれでも気軽に外出できる、くらしやすいまちづくりを目指して取組を進めていきます。

アンケート結果（一部抜粋）



免許返納前の方の想定よりも、実際は自動車(送迎)を移動手段としている割合が多いことがわかります。



75歳以上では、自家用車の有無によって、外出頻度に差がでることがわかります。



このほかのアンケート結果については別紙をご覧ください。

新しいまちをこどもたちと考えました

昨年実施した小学生向けイベント「未来に向けた駅のあるまちづくりを考えよう！」では、村岡地区の小学校4～6年生10人が参加し、村岡新駅周辺の大きな地図を広げながら、新しいまちにはどんな建物や施設があるとよいか、グループごとにテーマ設定をして、作業をしながら考えました。

終了後のアンケートでは、まちづくりにおいて、「住み続けたいと思えるまちをつくる」「安心・安全なまちをつくる」ことが大切だという意見が多く上がりました。



令和5年度の取り組みについて

村岡新駅周辺地区まちづくり協議会の取組

村岡新駅周辺地区におけるまちづくりを進めるにあたり、様々な立場の地域関係者が集まり、まちづくりに対する意見交換や検討を行う場として、「村岡新駅周辺地区まちづくり協議会」を令和4年度に設置しました。

昨年度の協議会の活動では、「村岡新駅周辺地区まちづくり方針」で示した将来地区像「尖る創造と広がる創造を生み出す街」の具体化を目指し、市が策定する「まちづくりコンセプトブック」について意見交換を行いました。今年度の協議会でも引き続き、「まちづくりコンセプトブック」への意見交換を行うなど、取組を進めてまいります。

新駅設置や土地区画整理事業の取組

村岡・深沢地区土地区画整理事業は令和5年3月にUR都市機構が国土交通省に対して事業認可の申請を行いました。また、令和4・5年度で、新駅設置等に関わる詳細設計を実施しています。

* 「まちづくりニュース」に関するお問い合わせはこちらまで

藤沢市 都市整備部 都市整備課 村岡地区整備担当

電話：0466-25-1111(代表) 4321(内線)

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/tosei/index.html>



村岡新駅周辺地区のまちづくり

～村岡地区の移動に関するアンケート調査の報告～



藤沢市 都市整備部 都市整備課

① アンケート調査の概要

- 2022年6月～7月に行った「村岡地区の移動に関するアンケート調査」の結果の一部を報告します。
- アンケートは、地域の移動の実態を把握し、村岡地区の移動に関する課題や潜在的な移動のニーズを把握するため、自治会町内会の皆様や横浜国立大学に支援していただきながら行いました。
- アンケートは地区の10,774世帯に各2部配布し、各地区の合計で3,262世帯、4,804名の個人から回答をいただきました。（単身世帯を考慮し、全体で約23.8%の世帯から回答をいただきました。）

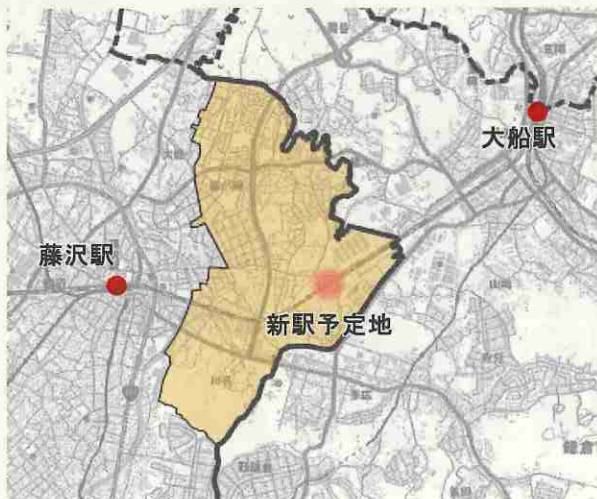


図1-1 調査対象地区



図1-2 地区別の世帯抽出率
※抽出率は調査対象地区内の世帯数により算出

② 村岡地区の免許保有状況

- 調査の結果から75歳を境に運転免許返納者の割合が大きく増加し、85歳以上の男性の約半数が運転免許を返納していることがわかりました。
- 自動車運転免許返納後の移動手段について、返納前の想定と返納後の実態には乖離が見られます。
- 免許返納後の移動手段では、想定より自家用車(送迎)による移動が増加し、バスによる移動が減少する傾向が見受けられます。

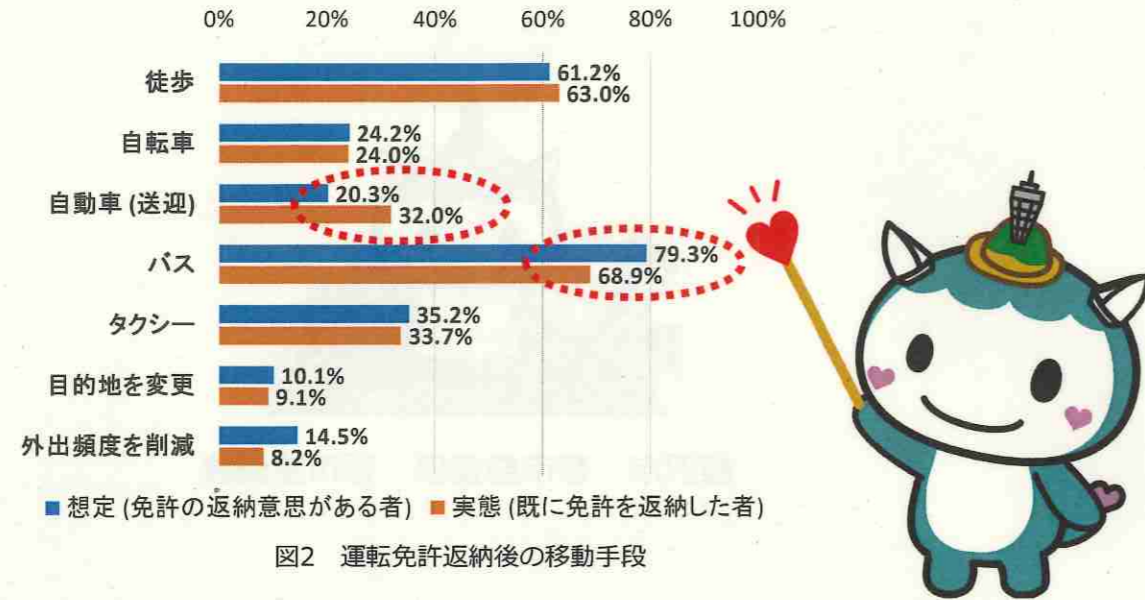


図2 運転免許返納後の移動手段

③ 自家用車の有無による外出頻度の差

- 75歳以上の年齢層になると、自家用車を利用できる方々に比べて、利用できない方々の外出の日数が少なくなってきています。
- 近年、若年層の運転免許取得意向は下がりつつあります。

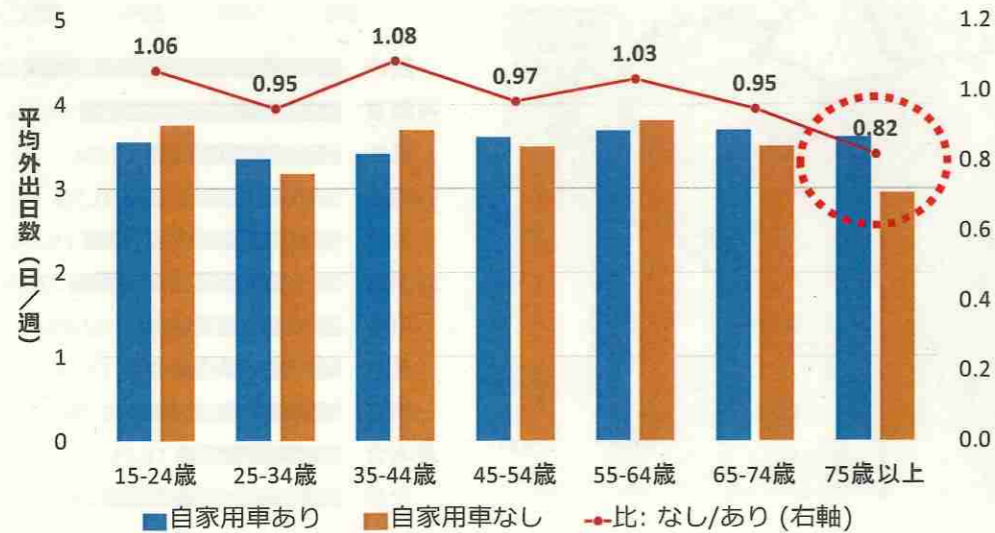


図3 平均外出日数

④ 現在の村岡地区の状況 (1)

- 村岡の通勤通学における自家用車利用は概ね2割程度で、公共交通機関が主な手段となっています。
- 通勤通学以外の目的の場合には、概ね4割程度、地区によっては5割以上が自家用車で移動をしています。

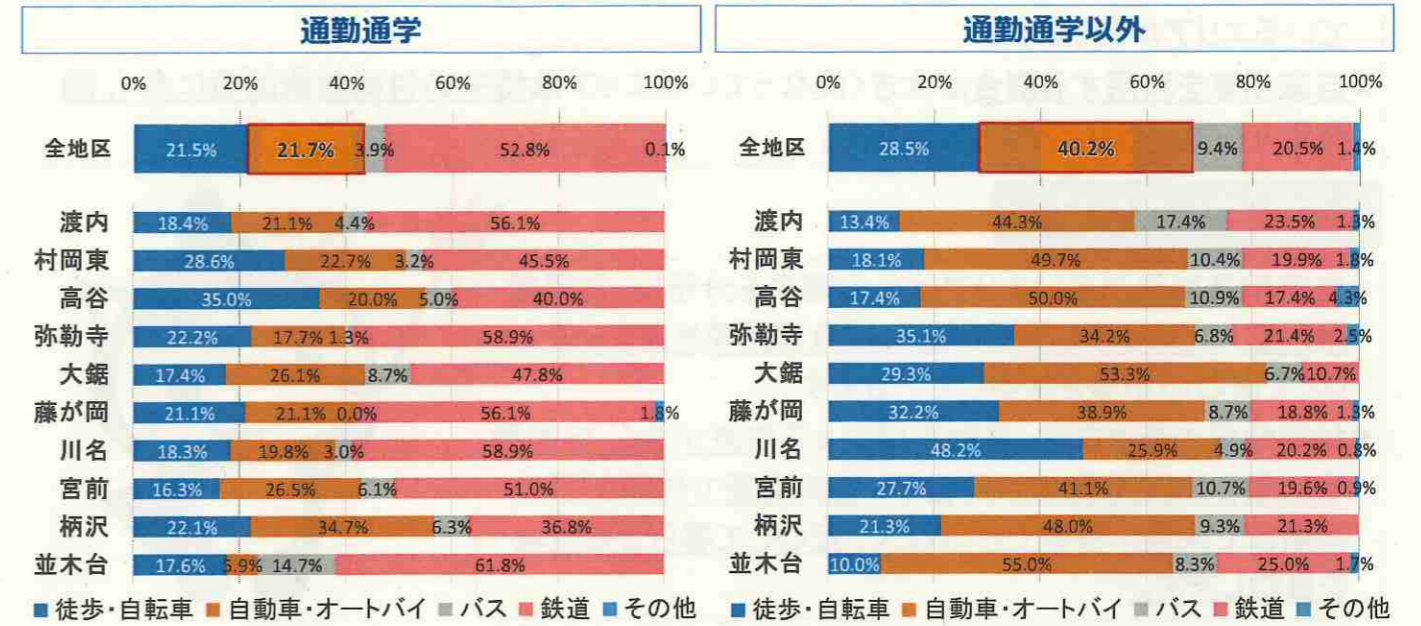


図4-1 通勤通学の主な移動手段

図4-2 通勤通学以外の主な移動手段

④ 現在の村岡地区の状況 (2)

- 駅との位置関係では、駅から遠い地区ほど自家用車の利用が多くなっています。
- 将来の村岡新駅の周辺となるエリアで自家用車利用が多くなっています。

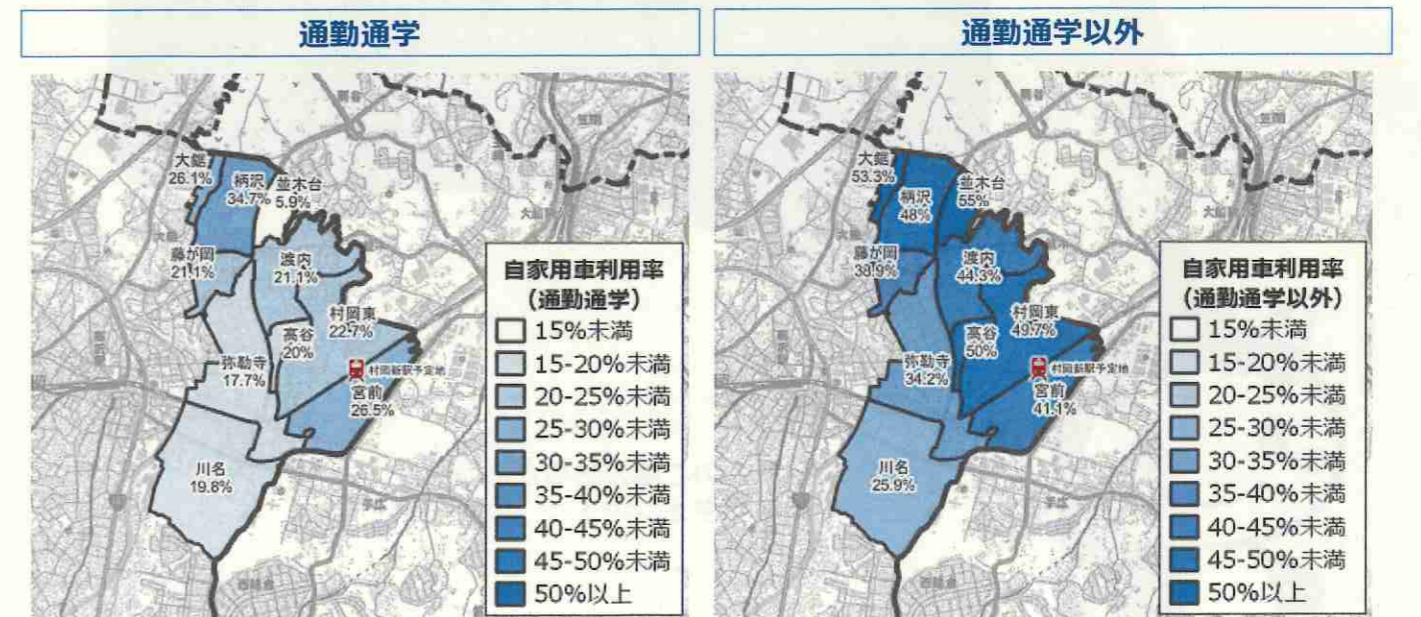


図4-3 通勤通学での移動手段

図4-4 通勤通学以外での移動手段

⑤ 村岡新駅とその周辺の整備に向けてわかったことは？

わかったこと

- 村岡地区内においてもエリア毎に主要な移動手段が異なっていることが解ります。
- 目的別の移動では「通勤・通学」「それ以外」で自家用車を利用する割合が大きく異なっているエリアがあります。
- 自家用車を利用する割合が大きく異なっているエリアは将来の村岡新駅周辺に多く、現在駅から遠いエリアとなっています。

これからの取組

- 自家用車利用が多いエリアはその理由を分析し、村岡新駅周辺にどのような施設があれば自家用車をあまり使わなくて済むのか等を検討していきます。
- 村岡地区の皆さまが、移動手段による格差がなく、自家用車に頼らなくても徒歩や自転車、公共交通で村岡新駅の駅前まで快適に移動でき、楽しく、安心して暮らせる環境を目指します。



このアンケート結果等を用いながら
新駅開業後の新たな交通・移動環境づくりについて
検討を進めてまいります！



アンケートへのご協力ありがとう
ございましたキュン♡！

